

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：平成30年12月27日

事業所名 **あゆっこ益田**

	チェック項目	評価			工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
		はい	どちらとも いいない	いいえ		
環境・体制整備	1 児童が個人プログラムを行うスペースとの関係で適切であるか	5			個人プログラムを実施するための専用設計となっている。	
	2 職員の配置数は適切であるか	1	3	1	事業の内容や定員に対する配置としては不足していない	
	3 活動空間は本人に分かりやすく構造化された環境になっているか。また、障害特性に応じ、事業所の設備等は「バリアー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	1	2	2	活動空間は個人プログラム専用として使用しているため、「何をするか」は分かりやすい環境と考える 玄関にスロープを設けている	内部の段差等については、スタッフの援助を引き続き行っていく
	4 活動空間は清潔で心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか	3	2		毎日、清掃と消毒を実施している 子どもの年齢や発達課題等に合わせ、机や椅子の配置等を変えている。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5			全体で個別支援検討会を実施し、中間評価を行っている	
	6 保護者等向け評価表により保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5			今年度より開始	今回、保護者の方からの評価を得ることができ、この結果をもとに、今後の業務改善に取り組んでいきたい。
	7 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5			今年度より開始	今年度より結果をHPにて公表（H30年12月）。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	1		第三者による外部評価は実施していない	第三者による外部評価の実施に向けた調整等を行いたい。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5			外部研修会への参加やセンター内の各種研修会に参加している	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	5			アセスメントをもとに原案を作成し、支援計画を作成している	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	1		定期的実施される心理評価の情報を共有している	
	12 児童発達支援計画には、「発達支援」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5			適時にモニタリングをし、支援内容の検討・改善を行い、保護者に寄り添いながら家庭や地域社会での生活に活かされる様取り組んでいる	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5			児童発達支援計画に基づいた支援を行っている	

	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	1		日々の課題は担当者が立案。中間評価の中で全体で個別の計画内容を確認している	
	15	活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか	5			課題の達成状況をみながら、ステップアップを図っている	
	16	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5			朝のミーティングにて全体で役割分担等の確認をしている	
	17	支援終了後には、職員間でその日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	1		支援終了後やその都度、話し合いや振り返りをし、共有している	
	18	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5			毎回記録し、その記録を次回の立案に繋げている	
	19	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5			定期的実施している中間評価に基づいて児童発達支援計画の見直しを行っている	
	20	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	4	1		個人プログラムの課題として実施可能な活動は取り入れている	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5			担当者、または児童発達支援管理責任者が参画している	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	5			母子保健や障害福祉、就学に際しては教育委員会と連携している	
	23	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合は、地域の保健、医療、障害福祉、保育等の関係機関と連携した支援を行っているか	5			医療や保健、障害福祉等と連携しながら支援をしている。	
	24	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	5			主治医と連絡体制を整えている	
	25	移行支援として、保育所や幼稚園、認定子ども園との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5			ほぼ全員が園との並行利用児となっている。全てではないがケースにより園との情報共有を図っている	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5			就学移行支援として就学先小学校等へ「引き継ぎ」に行き、情報共有等を図っている	
	27	発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	1		ケースにより連携している。主催の研修や会議等に出席している	
	28	地域自立支援協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	5			自立支援協議会に参画し、子育てや教育委員会主催の会議等に出席している。	
	29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5			個人プログラムの実施内容と子どもの状況については毎回保護者へお伝えし、共通理解を図っている	

	30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	5			ペアトレは実施していないが、保護者からの相談に対して助言等を行っている	
保護者への説明責任等	31	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5			契約時に、契約書や重要事項説明書をもとに説明している	
	32	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	5			児童発達支援計画の内容を保護者に説明し、同意を得ている	
	33	定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5			保護者との面談は毎日頃から実施し、必要に応じて助言や支援につなげている	
	34	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5			センター内に苦情受付窓口を設置して体制を整備するとともに、第三者委員や県の相談窓口についても保護者へ周知している	
	35	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	1	1	事業所独自の会報は発行していないが、当センターの会報に参画し、発信している	
	36	個人情報の取扱いに十分注意しているか	5			他機関との連携等で必要な場合は、その都度、取り扱う目的や内容等について保護者の了解を得ている	
	37	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5			子どもの理解力や特性、コミュニケーション能力に合わせ、伝え方等を工夫している。	
	38	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2		3	事業所単独では実施していないが、センターの行事に参画している	
非常時等の対応	39	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	3	2		センターとして策定しているが保護者への周知は不十分である	
	40	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか	4	1		訓練を実施しているが、事業の性質上利用者の参加は難しい状況にある	
	41	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	5			アセスメントで聞き取りをし、確認している	
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	2		積極的にヒヤリハット事例集を作成していない	事業所内で報告された事例を集めた事例集を作成し、事業所内で共有するとともに、対策を講じる
	43	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5			虐待防止委員会主催のグループワークに年2回参加している	

